

神樹の会会報

No. 44
平成10年5月27日

発行所：神樹の会
発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業所 ☎782-9675
〒655-0038 神戸市垂水区星陵台4-4-45

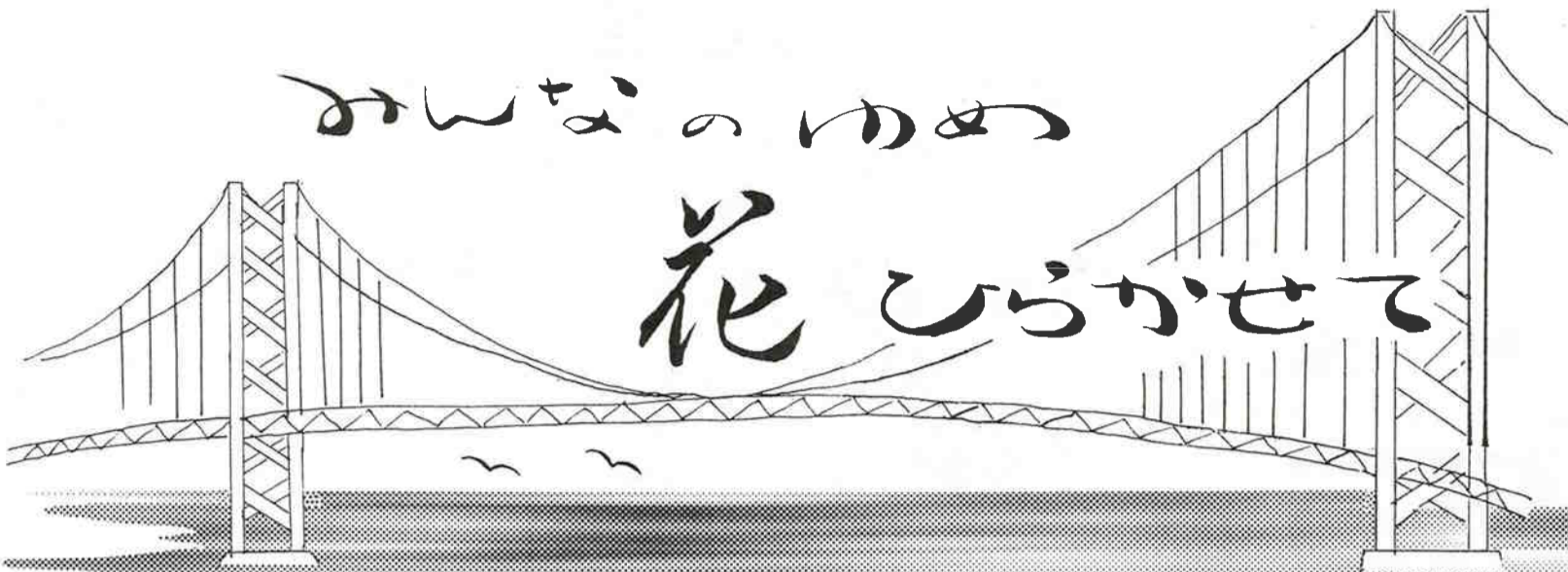
たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイスサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12



明石海峡大橋の開通と共に神樹の会にも嬉しい事がありました。それは神戸市はじめ関係機関の絶大なご支援のもと、二か所の作業所をオープンできた事です。北区で初めての「たおじ作業所」地域で通える「ゆめの作業所」。今日も「おはよう」の笑顔から一日がはじまります。

たおじ作業所

経緯 就労の得がたい在宅重度身体障害者が地域で「生きる場」との強い願いから、北区の重度身体障害者作業所第一号としてオープン。公的施設が出来るまでの間土地を無償で借りしています。

開所日 平成十年四月六日

場所 神戸市北区有野字白原三六八九

実施日 月～金曜日 (AM10時～PM3時)

土曜日 (月二回) 動作訓練指導

利用者 男子2名 女子4名

職員 3名 ボランティア毎日1名

通所 リフト付ワゴン車による送迎

作業内容

さをり織り 和紙はし袋づくり
トールペインティング
植物栽培
製品の販売
社会見学
一泊旅行
プール スポーツ



楽しかったね
またね!!

第1回 ヤングフェスティバル



去る二月八日の勤労会館大ホールは、タイコや笛の音ギターの調べ、そして大勢の歌声が流れ、大にぎわいの一日でした。それは本会のヤング会員、ボランティアさん達、そして「がんばろう神戸」の出演者の皆様など総勢百五十数名が参加しての「ヤングフェスティバル」が開催されたからです。久しぶりに顔を会わせたいタイムに会話のはずむ人、奇術の手に見る人等々、それぞれに楽しいひとときでした。

ご協力いただいた社会福祉協議会様をはじめ、皆様に感謝申し上げます。

ゆめの作業所

経緯 地域で毎日でも通所できる場をとの要望に
応えて建物をお借りして開所。少し歩けば湊川商店街へ。散歩や買物を通して地域の人々とのふれあいが得られる環境です。

開所日 平成十年五月九日

場所 神戸市兵庫区湊川町八丁目四一〇

実施日 月～金曜日 (AM10時～PM3時)

○あたらしい作業所を
○ご紹介いたします

利用者 男子3名 女子2名 交流生
職員 専任1名 講師3名

通所 自家用車等による自力通所
五月末よりリフト付ワゴン車による送迎を開始予定

作業内容 さをり織り
陶芸 ちぎり絵

行事 社会見学 レクリエーション
P R 始まったばかりで手さぐりの状態です。心強い指導員さんや熱心なボランティアさんに囲まれて、明るく誰もが気軽に出入りでき、地域の中に溶け込んだ作業所に育っていきたくです。

「北神」地区

神樹の会会長 宮脇 テル子

会員の熱的な要請により、又総意を得て、この度神樹の会では二つの小規模作業所を開設いたしました。いずれも友生・垂水両養護学校卒業生の重度障害者を対象としたものであり、特に北神地区在住の重度障害者にとっては長らく待たれていたことでもあります。すでに事業を開始していますが、神戸市からそれぞれ補助金を頂けるようになり、軌道に乗りかけています。両養護学校の先生方をはじめ、関係諸機関、地域の方々の温かいご協力をいただき開始できましたことを心よりお礼申し上げます。「たおじ」は借地で期間が限られておりますが、とりあえず集える場を確保できましたことうれしく思っています。

今後とも会員一同力を合わせて乗り切りたい所存です。更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

総会

日時：平成10年6月21日(日)
午後1時30分～
場所：神戸市勤労会館 3階 308号室
審議事項：平成9年度事業報告
平成10年度予算 他

つぎのステップへ!

中島 英子

息子が垂水養護学校卒業後、星陵園に入所させていたで、早や十五年目になります。成長する子どもと共に、親の老いを痛感する昨今です。彼にとっては熱心な指導員や、心温かいボランティアさん・地域の皆さんと共に活動出来る星陵園は最高のようです。お母さん方も毎日付き添っての通所は大変ですが、それはそれで色々な情報交換や憩いの場ともなっている心なごひとなりに、新しい施設へのステップになったと思います。

所長さんを中心に開設以来十六年、公立の施設が建設されることを目標として来ましたが、その夢も今年九月に、神戸市立西部在宅障害者福祉センターの中に、重症心身障害児(者)通園事業として実現することになりました。

次は重症心身障害児(者)を対象とした施設の建設が、待たれるところです。年々重度化する障害児(者)のためにも是非とも、神戸市に重症心身障害児(者)の入所施設が出来ることをお願いいたします。

垂水養護学校 昭和五十八年度卒

星陵園 母親

今春の人事異動により、神戸市保健福祉局育成課長吉岡崇氏の後任に安井昌義氏が、また身体障害者福祉係長は狩野りか氏から松本哲昌氏への異動がありました。そして川上博垂水養護学校長が退職され、新しく本田巨校長が赴任されました。また友生・垂水両養護学校で計四十七名の教職員の方々が退職、転任されました。平成九年度友生・垂水両養護学校の卒業生十四名は元気に新しい道へと歩みだしました。

友生養護学校

- 《転出》
 工藤 高行 下畑台小学校
 矢野 日出子 魚崎幼稚園
 重富 明子 市立盲学校
 小笠原 裕 向洋小学校
 永崎 節子 若宮小学校
 笹井 洋子 西郷小学校
 橋本 知子 本山第一小学校
 大西 美枝子 垂水養護学校
 井上 一三 港島中学校
 石川 紅児 垂水養護学校
 喜好 順子 兵庫中学校
 吉田 史恵 青陽東養護学校
 本田 亜希子 渚中学校
 高本 淳一 太山寺中学校
 青山 淳一

- 《退職》
 藤河 満代
 紀由 紀子
 井上 道子
 小澤 なつみ
 武本 和幸
 東馬場 幸美
 山本 恵子
 日下部 順子

感謝

前垂水養護学校長 川上 博

この度、垂水養護学校を最後に、三十七年間の教員生活を終え、今、ホッと一息ついてるところです。垂水養護学校在任二年間をふり返ってみますと、ただただ慌ただしく、落ち着きのない日々の連続で、子ども達や保護者の皆様方の実態や思いに十分配慮することができなかったと深く反省しているところです。ただ私なりに、不十分ではありましたが、①チェンジ(変革) ②チャンス(好機) ③チャレンジ(挑戦)の3Cを基本に、教職員の理解と協力を得ながら努めさせていたつもりです。

その間、神樹の会並びに会員の皆様方には何かとご理解、ご支援を賜りましたこと、ここに深く感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。



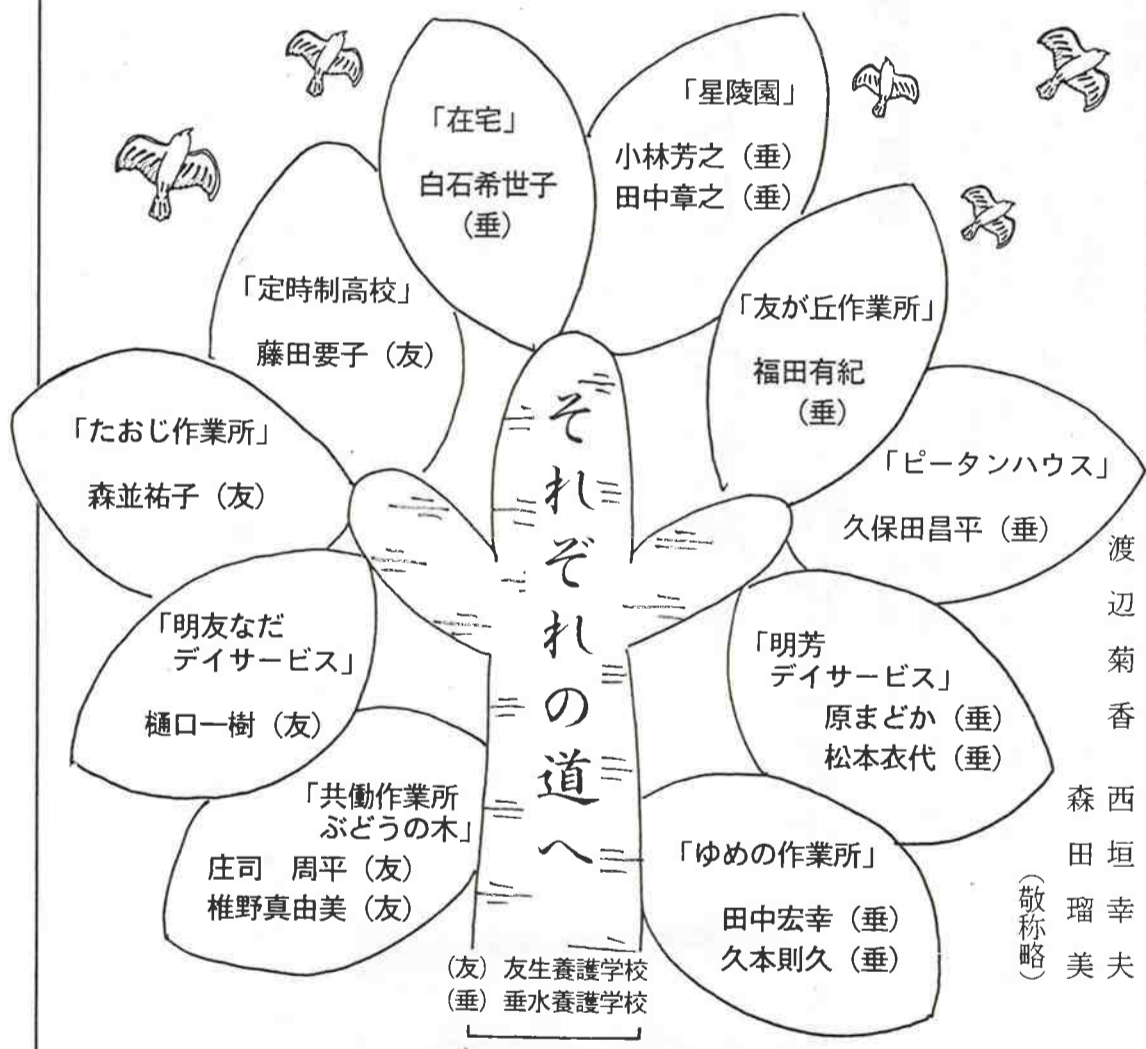
▲友生養護学校高等部卒業生の皆さん



▲垂水養護学校高等部卒業生の皆さん

垂水養護学校

- 《転出》
 齋藤 允己 大池中学校
 岡主 進子 友生養護学校
 林 勤 青陽高等養護学校
 薬師寺 肇 青陽東養護学校
 高田 敏 兵庫中北分校
 鳥越 清 友生養護学校
 丸岡 修 友生養護学校
 吉井 美 友生養護学校
 下村 茂美 友生養護学校
 川原 一之 友生養護学校
 外野 利之 友生養護学校
 中野 美紀 友生養護学校
 澤田 実 友生養護学校
 黒崎 麻友美 友生養護学校
 西神中学校
- 《退職》
 川上 博
 遠藤 米博
 山口 一幸
 山中 啓治
 竹中 菊香
 渡辺 香美
 佐藤 耕壽
 中藤 萬里子
 植田 時江
 大田 幸夫
 西垣 美



若葉が、さわやかに映える季節となりました。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。会報第四十四号をお届けします。今後とも、よろしくご協力お願いいたします。

(田村 宮口 宮崎 村山 西村 日高 黒田 松岡 小野 宮脇)

計報

平成九年十二月より平成十年四月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

奥村 敬一様 (昭和五十一年度卒)
 奥村和彦さんの父親

樋口 康三様 (平成九年度卒)
 樋口一樹さんの父親

榎原 ちえ様 (垂水養護学校 中学部一年)



ひととき

障害者公共駐車場使用料減免制度 対象者の拡大について

- ・平成10年6月1日から、介護者運転の車に障害者が同乗して公共駐車場を利用する場合についても減免制度が適用されることになりました。
- ・3時間まで無料扱いです。
- ・申請用紙は各区福祉事務所にあります。

◇問い合わせ先
 神戸市建設局道路部管理課事務係
 ☎322-5381 内線4112

感謝

平成九年十一月から平成十年四月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。

春木 るり子様 東郷 賢治様
 玉置 洋二様 高井 寛様
 堤 様
 ・須磨寺から明芳デイサービスへリフト付き送迎車輛が寄贈されました。